

-----3月23日----- 2026年

## ※ 今週のアウトルック(3/23~3/27)

先週は各通貨ペアごとに動きがマチマチとなりました。  
総じて方向感を見出しづらい動きですが、週末には円安が進みました。

今週も、イラン情勢に影響されるところが大きいように思います。  
早期解決が難しいという見方が増えているように思いますが、  
原油先物、NYダウなどの動きと米ドルの動きの相関関係が、  
少し複雑になってきている状況のようにも思います。

先週のドル円は、木曜日に157円台まで下落しましたが、  
金曜日には再び159円台まで戻してそのまま週末を迎えました。  
イラン情勢に関する情報に大きく左右されている状況は続いています。

今週もイラン情勢に関する情報に注目が集まりそうですが、  
日米首脳会談に関する報道を市場がどう受け止めたのか。  
まずは週明け、月曜日の東京市場の動きに注目が集まりそうです。

ドル円の予想レンジは、155円~162円です。

ユーロドルは、1.14付近からリバウンドして1.16付近まで上昇しましたが、  
週末は少し戻して終了しています。  
イラン情勢に左右されていることは確かですが、相関関係が難しいようにも思います。

ユーロ円は週末に184円付近まで上昇してそのままNY市場を終了しました。  
今週、このまま185円付近のレジスタンスをブレイクして上昇を継続できるかどうかは、  
微妙なところのように思います。

ユーロ円の予想レンジは、180円~186円です。

ポンド円は210円から213円付近までの小さな動きとなっています。  
円安が進んでもポンドドルが安定しないため、動きが読みづらい状況は続きそうです。

ポンド円の予想レンジは、207円~215円です。

WTIの原油先物が100ドル目前での足踏み状態が続いています。  
イラン情勢に大きな動きがあった場合、一気に下落する可能性を示唆しているようにも感じます。  
原油先物が大きく動いた場合、大きくドル売りに転換するののかも確認したいところです。

### \* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。